

## RX ファミリ、H8SX ファミリ

## RCAN-TL1(H8SX ファミリ)と CAN(RX ファミリ)の相違点

### 要旨

本アプリケーションノートは、H8SX ファミリが搭載しているコントローラエリアネットワーク(RCAN-TL1)をご使用されているユーザに対し、RX ファミリへの移行を検討していただく際の CAN の相違点を記載した参考資料です。

本アプリケーションノートでは、対象デバイスに記載している製品の中から表 1 に示すグループの CAN を比較しています。表 1 に示すデバイス以外は、ユーザーズマニュアルをご確認ください。

また、RX200 シリーズに搭載されている RSCAN は、比較元である CAN とはソフトウェアの互換性が全くありませんので、本アプリケーションノートでは対象としておりません。RX ファミリにおける RSCAN と CAN の相違については 5. 関連ドキュメントをご確認ください。

表 1 CAN 仕様の比較対象デバイス

比較対象	ファミリ	グループ	搭載 CAN
比較元	H8SX ファミリ	H8SX/1720S グループ	RCAN-TL1
比較先	RX ファミリ	RX65N、RX651 グループ	CAN

### 対象デバイス

下記のうち、CAN が搭載されている製品

RCAN-TL1 搭載デバイス H8SX/1720S グループ

CAN 搭載デバイス

RX600 シリーズ、RX700 シリーズ

## 目次

機能の相違	
レジスタの相違	9
レジスター覧	9
制御レジスタの詳細	12
ステータスフラグの詳細	14
ビットタイミングと転送速度設定の詳細	16
メールボックスの送受信設定の詳細	17
割り込み要因のステータスフラグの詳細	
割り込み要因の要求を許可/禁止するフラグの詳細	24
受信メッセージの Identifier によるフィルタリング設定の詳細	27
タイマ制御/タイムトリガの詳細	28
メールボックスの相違	30
その他の相違	37
スリープモードの設定手順	37
CAN リセットによる初期化	38
エンディアン	38
関連ドキュメント	39
丁記録	40
	レジスタの詳細

### 1. 機能の相違

以下に機能の相違を示します。いずれかのグループにしか存在しない、または両方のグループに存在するが相違点がある項目は<mark>赤字</mark>にしています。

表 2 H8SX/1720S (RCAN-TL1) と RX65N (CAN) の機能の相違

項目		H8SX/1720S (RCAN-TL1) RX65N (CAN)		
プロトコル		Bosch 2.0B active 対応(ISO11898-1 規格)		
		タイムトリガ(ISO11898-4	無	
		規格)対応		
ビットレート	転送速度	最大 1Mbps		
	ビットレート計算	fCLK / (2 x (BRP+1) x	fCAN / ((BRP+1) ×	
	式	(TSEG1+TSEG2+1))	(1+TSEG1+TSEG2))	
		fCLK:周辺バスクロック	fCAN:周辺クロック or メイ	
			ンクロック	
		BRP:ホーレートノリスケー   ラ(2x(設定値+1)で fCLK	BRP:ボーレートプリスケー	
		フ(ZX(設定値+1)でICLK   を分周)	ラ(設定値+1 で fCAN を分   周)	
		TSEG1,2:タイムセグメン	TSEG1,2:タイムセグメント	
		F 1,2	1,2	
チャネル	1	2 チャネル		
ID フォーマット		各メールボックス(MBi.IDE	• ID フォーマットモード	
		ビット)で、標準 ID か拡張	ビット(IDFM)で全メー	
		ID かを選択	ルボックスの ID フォー	
			マットを指定	
			• ID フォーマットモード	
			ビット(IDFM)でミック	
			ス ID モードを選択した場	
			合、各メールボックス (MBj.IDE ビット)で、標	
			準 ID か拡張 ID かを選択	
メールボックス	バッファ構成	各チャネル 32 バッファ(受	各チャネル 32 バッファ(送	
J. 1011. J.J.X		信専用×1、送信/受信設定	信/受信設定可能×32)	
		可能×31)		
	FIFO メールボック	無	送信/受信設定可能×24、	
	スモード		送信用4段、受信用4段の	
			FIFO	
			として設定可能	
	64 メールボックス	有	無	
	機能			
	(2 チャネルのメー			
	ルボックスで 1			
	チャネルの 64 メー			
	│ルボックスを構 │成)			
	R/   ID 並べ替え	│ │ 有	無	
	ロ业で日ん	行   ※HCAN2 との互換機能	<del>////</del>	
		AIIOANZ C U 上 授		

I	 頁目	H8SX/1720S (RCAN-TL1)	RX65N (CAN)
データ送信	送信優先順位の選 択	メールボックス(バッファ) の番号順(降順) メッセージ優先順位 (Identifier)の高い順	メールボックス(バッファ) の番号順( <mark>昇順</mark> ) メッセージ優先順位 (Identifier)の高い順
	送信要求取り消し	可能	可能 ※レジスタの操作方法が異なります。2.5 メールボックスの送受信設定の詳細を参照ください。
	ワンショット送信 機能	無	1 回のみ送信 (CAN バスエラー、アービト レーションロストの場合でも 再送信なし)
データ受信	データフレームと リモートフレーム 受信	データフレームとリモートフレーム両方受信可能	データフレームかりモートフレームどちらかを選択 ※FIFOメールボックスモードのとき、FIDCRO.RTRビットとFIDCR1.RTRビットの組み合わせにより両方受信可能
	メッセージ ID マス ク機能	メールボックスごとに設定可能(メールボックス内にマスクの設定フィールドを持つ)	8 個のマスク設定可能(4 メールボックス単位) 対象は全メールボックス
	オーバライトモー ドかオーバラン モードの選択機能	選択可能	
	ワンショット受信 機能	無	1回のみ受信 (受信完了後は受信メール ボックスとして動作しない)
送信割り込み	メッセージ送信完 了割り込み	有	
	メッセージ送信取 り消し完了割り込 み	有	無 ※送信アボート完了フラグ (TRMABT)で確認可能
	送信 FIFO 割り込み	無	有
受信割り込み	メッセージ受信割 り込み	有	
	リモートフレーム 受信割り込み	有	有 ※リモート送信要求ビット (RTR)でリモートフレーム に設定したメールボックス は、リモートフレームを受信 するとメッセージ受信割り込 み要求が発生
	受信 FIFO 割り込み	無	有

エラー割り込み り込み (TEC≧128 また は REC≧128) バスオフ開始割り 込み	
り込み (TEC≧128 また は REC≧128) バスオフ開始割り 有	
(TEC≧128 また は REC≧128) バスオフ開始割り 有	
は REC≧128) バスオフ開始割り 有	
バスオフ開始割り 有	
1 # TV /	
(TEC≧256)	
バスオフ復帰割り 有	
込み	
ー ・	
ら通常復帰(11 の	
連続するレセシブ	
ビットを 128 回検	
出))	
エラーワーニング 有 有	
割り込み(TEC≧ (送信エラーと受信エラーを (送信エラーと受信エラーを	ラーを
96,REC≥96) 個別に割り込み発生) 包括して割り込み発生)	
オーバロードフ	
レーム送信割り込	
<i>a</i>	
未読メッセージの 有 無	
オーバライト割り ※メッセージロストフ	ラグ
込み (MSGLOST) で確認す	
受信オーバラン割 有	
り込み	
バスロック割り込 無 有	
A	
(CAN バス上に 32	
の連続するドミナ	
ントビットを検	
出)	
バスエラー割り込 無 有	
み (CAN バス上に	
スタッフエラーや	
フォームエラーな	
どを検出)	
その他の割り込み リセット処理割り ソフトウェアリセットまたは 無	
込み ハードウェアリセットによる ※パワーオンリセット	
リセットモードへの遷移で割 ラグ (PORF) やディー	
り込み発生     フトウェアスタンバイ	
トフラグ (DPSRSTF)	でリ
セット種類を判別可能	
ホルト割り込み ホルトモードへの遷移で割り 無 込み発生	
スリープ割り込み スリープモードへの遷移で割 無	
り込み発生	
スタートシステム 次のシステムマトリクスで 無	
マトリクス割り込メッセージの送信または受信	
み 完了時に割り込み発生	

Į	頁目	H8SX/1720S (RCAN-TL1)	RX65N (CAN)
	タイマコンペア	TCMR0~TCMR3のコンペ	無
	マッチ割り込み	アマッチで割り込み発生	
	タイマオーバラン	タイマ(TCNTR)のオーバ	無
	割り込み	ランで割り込み発生	
	 Next_is_Gap 受信	Next_is_Gap 付きタイムリ	無
	割り込み	ファレンスメッセージを受信	<b>**</b>
		で割り込み発生	
	メッセージエラー	テストモード時にメッセージ	無
	割り込み	エラー発生で割り込み発生 	
	 スリープモード中	スリープモード中に CAN バ	無
	に CAN バス動作	ス動作(ドミナントビット検	
	(ドミナントビッ	出)による割り込み発生	
	ト検出)による割		
ハードウェアリ	り込み発生 初期化するレジス	メールボックスのうち、	MKRk, FIDCR, MKIVLR,
セット	タ	RAM に配置されたメッセー	MIER、TFPCR、RFPCR、
		ジコントロールフィールド0	CSSR、AFSR、メールボック
		(CONTROL0)、ローカル	スを除く全てのレジスタ
		アクセプタンスフィルタマス	
		ク(LAFM)、メッセージ	
		データフィールド  (MSG_DATA_0~	
		MSG_DATA_0~   MSG_DATA_7)を除く全て	
		のレジスタ	
			_
	リセット後の状態		スリープモード
	遷移	(リセットモード)	
	リセット後の初期	コンフィグレーションモード	スリープモードを解除し、リ
	設定処理	(リセットモード)で実施	セットモードに遷移してから
			実施
ソフトウェアリ	初期化するレジス	MCR0 ビットを除く全てのレ	MCTLj、STR (SLPST ビッ
セット	タ	ジスタ	トと TFST ビットを除く)
		(メールボックスのうち、 <b>)</b>	EIFR 、RECR 、TECR 、
		RAM に配置されたメッセー	TSR , MSSR , MSMR ,
		ジコントロールフィールド 0	RFCR , TFCR , TCR ,
		(CONTROLO)、ローカル	ECSR (EDPM ビットを除   く)
		アクセプタンスフィルタマス	
		ク(LAFM)、メッセージ	
		データフィールド  (MSG_DATA_0~	
		MSG_DATA_0~   MSG_DATA_7)を除く)	
通常状態(エラー	遷移方法	制御レジスタで遷移	
アクティブ、エ			
ラーパッシブ)			

項目		H8SX/1720S (RCAN-TL1) RX65N (CAN)		
バスオフ状態	遷移方法	送信エラーカウンタ TEC≧256 で遷移		
	4-12-1			
	復帰時のモード遷   移	3 種類の遷移が可能 1)バスオフ状態で 11bit の連続するレセシブビットを 128 回検出し、エラーアクティブ 状態に遷移	4 種類の選択が可能 1)バスオフ状態で 11bit の連続 するレセシブビットを 128 回検出し、エラーアクティ ブ状態に遷移	
		2)バスオフ遷移時に HALT モードに移行(割り込みあり) 3) エラーパッシブモードからバスオフ状態に遷移した場合、11bit の連続するレセシブビットを 128 回検出する	2)バスオフ遷移時に HALT モードに移行(割り込みなし) 3)バスオフ復帰時に HALT モードに移行(割り込みあり) 4)バスオフ状態で手動(プロ	
		と、再びエラーパッシブモー ドに遷移	グラム)によりエラーアク ティブ状態か HALT モード に移行するかを選択	
コンフィグレー ションモード (リ セットモード)	遷移方法	ハードウェアリセット後に遷 移、または制御レジスタで遷 移	制御レジスタで遷移	
スリープモード	遷移方法	制御レジスタで遷移	制御レジスタで遷移、または リセット後に遷移	
	解除後のモード遷 移	制御レジスタの設定または CAN バス動作(ドミナント ビット検出)検出により、エ ラーアクティブ状態に遷移 制御レジスタの設定により、 ホルトモードに遷移	制御レジスタの設定によりリセットモード、または HALT モードに遷移	
HALT モード	遷移方法	制御レジスタで遷移		
エラー状態の監視	CAN バスエラー状態のモニタリング	不可(専用フラグなし)	スタッフエラー、フォームエ ラー、ACK エラーなどの CAN バスエラー発生をモニタ リング可能	
エラーカウンタの 読み出し		受信および送信エラーカウンタの読み出し可能		
DTC/DMAC 転送機能		メッセージ受信により DMAC 起動可能 対象はメールボックス 0 のみ	無	
タイムスタンプ機能		<ul> <li>16 ビットカウンタによるタイムスタンプ機能</li> <li>ソースクロックの分周を最大 64 分周に設定可能</li> <li>コンペアマッチによる割り込み</li> </ul>	<ul><li>16 ビットカウンタによる タイムスタンプ機能</li><li>基準クロックは 1,2,4,8 ビットタイムから選択可能</li></ul>	

Ti	5 FI	H98Y/17208 (BCAN TI 1)	DYSEN (CAN)
タイムトリガ機能	<b>受目</b>	<ul> <li>H8SX/1720S(RCAN-TL1)</li> <li>タイムトリガ送信用の6 ビットサイクルカウンタ (Basic Cycle)</li> <li>タイムトリガ用レジスタあり</li> <li>タイムトリガ送信および定周期送信もサポート</li> <li>サイクルカウンタ(Basic Cycle)を CAN フレームに組み込んで送信可能</li> </ul>	無 無
ソフトウェアサポー	-トユニット	無	<ul><li>アクセプタンスフィルタサポート</li><li>メールボックス検索サポート</li><li>チャネル検索サポート</li></ul>
テスト制御	自己診断機能	<ul> <li>リスンオンリモード</li> <li>セルフテストモード1         (外部ループバック)</li> <li>セルフテストモード2         (内部ループバック)</li> <li>ライトエラーカウンタ</li> <li>エラーパッシブモード</li> </ul>	<ul> <li>リッスンオンリモード</li> <li>セルフテストモード (クロック)</li> <li>セルフテストモード (内部ループバック)</li> </ul>
PORT インタ フェース	送受信端子の許可 禁止、および送受 信端子のモニタ	有	無 ※送受信端子の許可禁止を MPC の設定で、送受信端 子のモニタを PIDR レジス タで代用
モジュールストッ プ	モジュールストッ プレジスタによる クロック供給	有	

### 2. レジスタの相違

以下にレジスタの相違を示します。いずれかのグループにしか存在しない、または両方のグループに存在するが相違点がある項目は<mark>赤字</mark>にしています。

### 2.1 レジスター覧

表 3 H8SX/1720S (RCAN-TL1) と RX65N (CAN) のレジスター覧

項目	H8SX/1720S (RCAN-TL1)	RX65N (CAN)
制御レジスタ	マスタコントロールレジスタ (MCR)	制御レジスタ(CTLR)
ステータスフラグ	ジェネラルステータスレジスタ (GSR)	<ul><li>ステータスレジスタ (STR)</li><li>エラー割り込み要因判定レジスタ (EIFR)</li></ul>
ビットタイミングと転送速度 の設定	ビットコンフィギュレーションレ ジスタ 0、1(BCR0、BCR1)	ビットコンフィグレーションレジ スタ(BCR)
メールボックスの送受信設定	メッセージコントロールフィール ド(CONTROL1)の MBC[2:0] ビット	メッセージ制御レジスタ j (MCTLj)(j = 0 ~ 31)の RECREQ ビット、TRMREQ ビッ ト
送信待ち設定	送信待ちレジスタ 0、1 (TXPR0、TXPR1)	メッセージ制御レジスタ j (MCTLj)(j = 0 ~ 31)の TRMREQ ビット
送信完了ステータスフラグ	送信アクノリッジレジスタ 0、1 (TXACK0、TXACK1)	メッセージ制御レジスタ j (MCTLj)(j = 0 ~ 31)の SENTDATA ビット
送信待ち取り消し設定	送信キャンセルレジスタ 0、1 (TXCR0、TXCR1)	メッセージ制御レジスタ j (MCTLj)(j = 0 ~ 31)の TRMREQ ビット
送信メッセージ取り消し完了 のステータスフラグ	アボートアクノリッジレジスタ 0、1(ABACK0、ABACK1)	メッセージ制御レジスタ j (MCTLj)(j = 0 ~ 31)の SENTDATA ビット、TRMABT ビット
受信完了ステータスフラグ	データフレーム受信完了レジスタ 0、1(RXPR0、RXPR1)	メッセージ制御レジスタ j (MCTLj)(j = 0 ~ 31)の NEWDATA ビット
リモートフレーム受信完了ス テータスフラグ	リモートフレーム受信完了レジス タ 0、1(RFPR0、RFPR1)	-
割り込み要因のステータスフラグ	インタラプトリクエストレジスタ (IRR)※フラグクリアは"1" 書き込み	<ul> <li>メッセージ制御レジスタ j         (MCTLj) (j=0 ~ 31)の         RECREQ ビット、TRMREQ         ビット</li> <li>エラー割り込み要因判定レジス         タ(EIFR)</li> <li>※フラグクリアは"0"書き込み</li> </ul>
各メールボックス (バッ ファ) の割り込み要求を許可 /禁止するフラグ	メールボックスインタラプトマス クレジスタ 0、1(MBIMR0、 MBIMR1)	メールボックス割り込み許可レジ スタ(MIER)

項目	H8SX/1720S (RCAN-TL1)	RX65N (CAN)
各割り込み要因の要求を許可	インタラプトマスクレジスタ	<ul><li>割り込み要求許可レジスタ m</li></ul>
/ 禁止するフラグ	(IMR)	(IERM)
		<ul><li>エラー割り込み許可レジスタ (EIER)</li></ul>
受信エラーカウンタ	受信エラーカウンタ(REC)	受信エラーカウントレジスタ
		(RECR)
送信エラーカウンタ	送信エラーカウンタ(TEC) 	送信エラーカウントレジスタ (TECR)
オーバライトステータスフラ	未読メッセージステータスレジス	メッセージ制御レジスタj
グ 	タ 0、1(UMSR0、UMSR1)	(MCTLj) (j = 0 ~ 31) の MSGLOST ビット
受信メッセージの Identifier に	メールボックス(MB[N])(N=0	● マスクレジスタ k(MKRk)(k
よるフィルタリング設定	~31) のローカルアクセプタンス	= 0 ~ 7)
	フィルタマスク(LAFML、	● マスク無効レジスタ
メールボックス	LAFMH)	(MKIVLR) メールボックスレジスタ j(MBj)
メールホックス	メールボックス(MB[N])(N=0 ~31)	$(j = 0 \sim 31)$
 モジュールストップ制御	 モジュールストップコントロール	モジュールストップコントロール
	レジスタ E(MSTPCRE)	レジスタ B(MSTPCRB)
		※本レジスタの設定前にプロテク
		トレジスタ(PRCR)の設定が必要
FIFO 受信 ID 比較設定	-	FIFO 受信 ID 比較レジスタ 0、1
 受信 FIFO 許可/禁止設定	_	(FIDCR0、FIDCR1) 受信 FIFO 制御レジスタ(RFCR)
受信 FIFO ポインタ制御設定	_	受信 FIFO ポインタ制御レジスタ
		(RFPCR)
送信 FIFO 制御設定	-	送信 FIFO 制御レジスタ(TFCR)
メールボックス検索モード設	-	メールボックスサーチモードレジ
定	-	スタ(MSMR) メールボックスサーチステータス
スレジスタ	-	レジスタ(MSSR)
チャネル検索モード設定	-	チャネルサーチサポートレジスタ
		(CSSR)
複数の受信 ID マスク機能のサ	-	アクセプタンスフィルタサポート
ポート CAN バス上のエラーの発生モ	-	レジスタ(AFSR) エラーコード格納レジスタ
CAN ハス上のエラーの発生モ   ニタリング	-	エラーコート恰納レンスタ   (ECSR)
CAN テストモード制御	マスタコントロールレジスタ	テスト制御レジスタ(TCR)
	(MCR) の TST[2:0]ビット	
タイマ制御	タイムトリガコントロールレジス	制御レジスタ(CTLR)の TSRC
	タ 0(TTCR0)	ビット、TSPS[1:0]ビット
		※カウンタのリセットとプリス ケーラの選択のみ
タイマステータス	タイマステータスレジスタ (TSR)	-
タイマカウンタ	タイマカウンタレジスタ (TCNTR)	タイムスタンプレジスタ(TSR)
サイクルタイム	サイクルタイムレジスタ	-
	(CYCTR)	

項目	H8SX/1720S (RCAN-TL1)	RX65N (CAN)
タイムリファレンスメッセー ジの SOF におけるタイマカウ ンタ	リファレンスマークレジスタ (RFMK)	-
タイムトリガ送信のサイクル カウンタ	サイクルカウンタレジスタ (CCR)	-
サイクルカウンタの最大値	サイクルマキシマム/ Tx_Enable_Window レジスタ (CMAX_TEW)	-
送信トリガタイム(TTT)の オフセット設定	リファレンストリガオフセットレ ジスタ(RFTROFF)	-
タイマカウンタまたはサイク ルタイムとのコンペアマッチ	タイマコンペアマッチレジスタ 0 ~2(TCMR0、TCMR1、 TCMR2)	-
サイクルカウンタとのコンペ アマッチ指定	送信トリガタイムセレクトレジス タ(TTTSEL)	-

## 2.2 制御レジスタの詳細

表 4 H8SX/1720S (RCAN-TL1) と RX65N (CAN) の制御レジスタ

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)		
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
マスタコントロールレジスタ(MCR)			制御レジス	タ(CTLR)	
MCR0	リセットリ クエスト	0:通常動作モード 1:リセットモード(初期 値)	CANM	CAN 動作 モード選	00:通常動作モード 01:リセットモード(初 期値) 10:Haltモード
MCR1	ホルトリク エスト	0:通常動作モード(初 期値) 1:ホルトモード	[1:0]	択ビット	11: リセットモード (強制移行)※強制移行は送信終了を待たずに移行するモード
MCR2	メッセージ送信方式	0:メッセージ ID 優先 (初期値) 1:メールボックス番号 優先(降順)	TPM	送信優先 順位モー ド選択 ビット	<ul><li>0:メッセージ ID 優先 (初期値)</li><li>1:メールボックス番号優 先</li></ul>
MCR5	CAN ス リープモー ド	0:スリープモード解除 (初期値) 1:スリープモード	SLPM	CAN ス リープ モード ビット	0:スリープモード解除 1:スリープモード(初期値) ※ハードウェアリセット 後はスリープモードに自 動遷移
MCR7	自動ウェイ クモード	0: CAN バス動作によるスリープモード解除を禁止(初期値) 1: CAN バス動作によるスリープモード解除	-	-	-
MCR6	バスオフ時 ホルト	<ul><li>0:バスオフ時のホルト モード遷移無効(初期値)</li><li>1:バスオフ時のホルト モード遷移有効</li></ul>		バスオフ	00:通常動作モード (初期値) 01:バスオフ開始で自動 的に Halt モード
MCR14	自動バスオ フホルト	0: バスオフ時にホルト モードへ遷移しない (初期値) 1: MCR6=1 のとき、バ スオフ時にホルトモー ドへ遷移	BOM[1:0]	復帰モ <u>ー</u> ド選択 ビット	10: バスオフ復帰で自動 的に Halt モード 11: プログラムによリバ スオフ復帰前に Halt モー ドに遷移可能
MCR15	ID 並べ替え	0:メールボックスのコントロール 0 と LAFM の並びは HCAN2 と同等の順序 1:メールボックスのメッセージコントロールの並びは HCAN2 と異なる順序	-	-	-

	H8SX/1720S	(RCAN-TL1)		RX65N	I (CAN)
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
-	-	-	IDFM[1:0]	ID フォー マット モード ビット	00:標準IDモード(初期値) 01:拡張IDモード 10:ミックスIDモード 11:設定禁止 ※ミックスIDモードを選 択した場合、各メール ボックス (MBj.IDE ビット)で、標準IDか拡張 IDかを選択
マスタコン	トロールレジス	スタ(MCR)	テスト制御	レジスタ (To	CR)
TST[2:0]	テストモード	000:通常動作モード (初期値) 001:リスンオンリ モード 010:セルフテスト モード1(外部) 011:セルフテスト モード2(内部) 100:ライトエラーカ ウンタ 101:エラーパッシブ モード 110:設定禁止 111:設定禁止	TSTM[1:0]	CAN テス トモード 選択ビッ ト	00: テストモード以外 (初期値) 01: リッスンオンリモード 10: セルフテストモード 0(外部ループバッグ) 11: セルフテストモード 1 (内部ループバッグ)
-	-	-	TSTE	テスト モード許 可ビット	0: CAN テストモード禁 止 1: CAN テストモード許 可

## 2.3 ステータスフラグの詳細

表 5 H8SX/1720S(RCAN-TL1)と RX65N(CAN)のステータスフラグ

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能	
ジェネラルステータスレジスタ(GSR)			エラー割り	込み要因判定レ	ジスタ(EIFR)	
GSR0	バスオフ フラグ	0:バスオフ状態ではない(初期値) 1:バスオフ状態(TEC ≧256 のとき) [クリア条件] バスオフ状態からの復帰	BOEIF	バスオフ開 始検出フラ グ	0:バスオフ状態ではない(初期値) 1:バスオフ状態(TEC ≧256 のとき) [クリア条件] 0書き込み	
GSR1	送信/受 信ワーニ ングフラ グ	0: エラーワーニング未 検出(初期値) 1: エラーワーニング検 出(TEC ≧ 96 または REC≧96 のとき)	EWIF	エラーワー ニング検出 フラグ	0: エラーワーニング未 検出(初期値) 1: エラーワーニング検 出(TEC ≧ 96 または REC≧96 のとき)	
ジェネラル	ステータスレ	ジスタ(GSR)	ステータス	レジスタ(STF	(1)	
GSR2	メッセー ジ送信中 フラグ	0:送信中 1:バスアイドル(初期 値)	TRMST	送信ステー タスフラグ (transmitte r)	0: バスアイドルまたは 受信中(初期値) 1: 送信中またはバスオフ状態 ※RECST との組み合わせで状態を確認可能 バスアイドル: TRMST=0,RECST=0 送信中: TRMST=1,RECST=0 受信中: TRMST=0,RECST=1	
			RECST	受信ステー タスフラグ (receiver)	0: バスアイドルまたは 送信中(初期値) 1: 受信中	
GSR3	リセット ステータ ス	<ul><li>0:通常動作状態</li><li>1:コンフィギュレー</li><li>ションモード(リセットモード)(初期値)</li></ul>	RSTST	CAN リセットステータ スフラグ	0 : CAN リセットモード ではない 1 : CAN リセットモード (初期値)	
	ホルト/ス	ノープス い (初期値)	HLTST	CAN Halt ス テータスフ ラグ	0 : CAN Halt モードでは ない(初期値) 1 : CAN Halt モード	
GSR4	リープステータス		SLPST	CAN スリー プステータ スフラグ	0 : CAN スリープモード ではない 1 : CAN スリープモード (初期値)	

## RX ファミリ、H8SX ファミリ

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)		
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
GSR5	エラー パッシブ ステータ ス	0:エラーパッシブ状態ではない(初期値) 1:エラーパッシブ状態	EPST	シブステー	0:エラーパッシブ状態 ではない(初期値) 1:エラーパッシブ状態

## 2.4 ビットタイミングと転送速度設定の詳細

表 6 H8SX/1720S(RCAN-TL1)と RX65N(CAN)のビットタイミングと転送速度設定

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能	
ビットコンフィギュレーションレジスタ 1(BCR1)			ビットコンフィ	ビットコンフィギュレーションレジスタ(BCR)		
TSG1[3:0]	タイムセグメ ント1	b15 b12 0000: (設定 禁止) (初期 値) 0001: (設定 禁止) 0010: (設定 禁止) 0011: 4Tq 0100: 5Tq :	TSEG1[3:0]	タイムセグ メント1制 御ビット	b31 b28 0000:(設定禁 止)(初期値) 0001:(設定禁 止) 0010:(設定禁 止) 0011:4Tq 0100:5Tq :	
TSG2[2:0]	タイムセグメ ント2	b10 b8 0 0 0: (設定禁 止) (初期値) 0 0 1: 2Tq : 1 1 1:8Tq	TSEG2[2:0]	タイムセグ メント2制 御ビット	b10 b8 000: (設定禁 止) (初期値) 001:2Tq : 111:8Tq	
BSP	ビットサンプ ルポイント	0:1箇所のビッ トサンプリング (初期値) 1:3箇所のビッ トサンプリング	-	-	-	
SJW[1:0]	再同期ジャン プ幅	b5 b4 0 0 : 1Tq(初期 値) 0 1 : 2Tq 1 0 : 3Tq 1 1 : 4Tq	SJW[1:0]	再同期ジャ ンプ幅制御 ビット	b13 b12 0 0 : 1Tq(初期 値) 0 1 : 2Tq 1 0 : 3Tq 1 1 : 4Tq	
ビットコンフィギ <i>=</i>	レーションレシ		ビットコンフィ	ギュレーション	ノレジスタ(BCR)	
BRP[7:0]	ボーレートプリスケーラ	分周比は2× (設定値 P+1) ※初期値は 0(2 分周)	BRP[9:0]	プリスケー ラ分周比選 択ビット	分周比は(設定値 P+1) ※初期値は 0(1 分周)	

## 2.5 メールボックスの送受信設定の詳細

表 7 H8SX/1720S(RCAN-TL1)と RX65N(CAN)のメールボックスの送受信設定

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能	
メールボック	'ス(MB[N])(N=	<b>=</b> 0 <b>~</b> 31)	メッセージ制 31)	御レジスタj(l	MCTLj) (j = 0 ∼	
MBC [2:0]	メールボックス コンフィギュ レーション		TRMREQ	送信メール ボックス設 定ビット	0:送信メールボックスに設定しない (初期値) 1:送信メールボックスに設定する ※送信用と受信用の設定が分割	
		表8を参照	RECREQ	受信メール ボックス設 定ビット	0:受信メールボックスに設定しない (初期値) 1:受信メールボックスに設定する ※送信用と受信用の設定が分割	
送信待ちレシ	ジスタ 0、1(TXPR	O、TXPR1)	メッセージ制御レジスタ j(MCTLj)(j = 0 ~ 31)			
TXPR0 [15:1] TXPR1 [15:0]	送信待ちレジス タ	0:アイドル状態 (初期値) 1:送信待ち ※TXPR を1にすると送信開始 ※メッセージの送信完了および取り 消し完了後に自動 的にクリアされる	TRMREQ	送信メール ボックス設 定ビット	0:送信メールボックスに設定しない (初期値) 1:送信メールボックスに設定する ※TRMREQを1にすると送信開始 ※メッセージの送信 完了でもクリアされない	
送信アクノリ TXACK1)	送信アクノリッジレジスタ 0、1(TXACK0、 TXACK1)			  御レジスタj(l	MCTLj) (j = 0 ~	
TXACK0 [15:1] TXACK1 [15:0]	送信アクノリッ ジレジスタ	<ul><li>0 : 送信中または 送信していない (初期値)</li><li>1 : 送信完了</li><li>[クリア条件]</li><li>1 書き込み</li></ul>	SENTDATA	送信完了フラグ	<ul><li>0 : 送信中または送信していない(初期値)</li><li>1 : 送信完了</li><li>[クリア条件]</li><li>0 書き込み</li></ul>	

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能	
送信キャンセ	zルレジスタ 0、1	(TXCR0, TXCR1)	メッセージ制 31)	  御レジスタj(	MCTLj) (j = 0 ~	
TXCR0 [15:1] TXCR1 [15:0]	送信キャンセル レジスタ	0:送信メッセージ 取り消しアイドル 状態(初期値) 1:送信メッセージ の取り消し [クリア条件] 1 書き込み	TRMREQ	送信メール ボックス設 定ビット	<ul><li>0:送信メールボックスに設定しない(初期値)</li><li>1:送信メールボックスに設定する※TRMREQを1→0に変更すると送信取り消しとなる</li></ul>	
アボートアク ABACK1)	<b>7</b> ノリッジレジスタ	0、1 (ABACK0、	メッセージ制 31)	l御レジスタ j(l	MCTLj) (j = 0 ~	
ABACK0 [15:1] ABACK1 [15:0]	アボートアクノ リッジレジスタ	0:送信完了により 取り消し失敗また は取り消し要求な し(初期値) 1:送信メッセージ 取り消し完了 [クリア条件] 1 書き込み	TRMABT	送信アボー ト完了フラ グ	0:送信完了により 取り消し失敗または 取り消し要求なし (初期値) 1:送信メッセージ 取り消し完了 [クリア条件] 0書き込み	
データフレー RXPR1)	_ -ム受信完了レジス	タ 0、1(RXPR0、	メッセージ制御レジスタ j(MCTLj)(j = 0 ~ 31)			
RXPR0 [15:0] RXPR1 [15:0]	データフレーム 受信完了レジス タ	0: 受信中または受信していない(初期値) 1: データフレーム 受信完了 [クリア条件] 1 書き込み	NEWDATA	受信完了フラグ	0:受信中または受信していない(初期値) 1:データフレームまたはリモートフレーム受信完了 [クリア条件] 0書き込み	
リモートフレーム受信完了レジスタ 0、1 (RFPR0、RFPR1)			-			
RFPR0 [15:0] RFPR1 [15:0]	リモートフレー ム受信完了レジ スタ	<ul><li>0:受信中または受信していない(初期値)</li><li>1:リモートフレーム受信完了</li><li>[クリア条件]</li><li>1 書き込み</li></ul>	-	-	-	

## 表 8 メールボックスコンフィギュレーション (MBC[2:0]) の設定

b2 b0	データフレーム/	データフレーム	リモートフレーム	説明			
	リモートフレーム送信	受信	受信				
0 0 0	<b>*</b> 可	禁止禁止		メールボックス 0 は使用 不可能 タイムトリガ送信は使用 可能			
0 0 1	at HJ	禁止	許可	ATX で使用可能 メールボックス 0 は使用 不可能 LAFM は使用可能			
0 1 0	禁止	許可	許可	メールボックス 0 は使用 可能 LAFM は使用可能			
0 1 1	<b>一</b>	許可	禁止	メールボックス 0 は使用 可能 LAFM は使用可能			
1 0 0 1 0 1 1 1 0		設定禁止					
1 1 1	メールボックスインアク	メールボックスインアクティブ(初期値)					

## 2.6 割り込み要因のステータスフラグの詳細

表 9 H8SX/1720S (RCAN-TL1) と RX65N (CAN) の割り込み要因のステータスフラグ

H8SX/1720S (RCAN-TL1)		RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
インタラプ	トリクエストレジス	スタ(IRR)	メッセージ制御レジスタ j(MCTLj)(j = 0 ~ 31)		
IRR8	メールボックス エンプティ割り 込みフラグ	0:送信中または送信していない(初期値) 1:送信完了または送信取り消し完了または送信取り消し完了 「クリア条件」 TXACK(送信アクリッジレジスタ)のでした場合のアイリッジャトをクリッジャト会	SENTDATA	送信完了フラグ	0:送信中または送 信していない(初期 値) 1:送信完了 [クリア条件] 0書き込み
IRR1	データフレーム 受信割り込みフ ラグ	0:受信中または受信していない(初期値) 1:データフレーム受信完了 「クリボックタフレームで完定です。 「クリボックタフレールボデースののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	- NEWDATA	受信完了フ	0:受信中または受 信していない(初期 値) 1:データフレーム およびリモートフ
IRR2	リモートフレー ム受信割り込み フラグ	0:受信中または受信していない(初期値) 1:リモートフレーム受信完了 「クリア条件」メールボックストンでは、リームのビットではでいるのピットでは、ファインのアンジャインのアンジャインのアクリアと場合		ラグ	およびりモートノ レーム受信完了 [クリア条件] 0書き込み

	H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能		
IRR12	CAN スリープ モード時バスア クティビティ	0: CAN バスアイド ル状態(初期値) 1: CAN スリープ モード中に CAN バ スの動作あり [クリア条件] 1 書き込み	-	-	-		
インタラプ	トレジスタ(IRR)	,	エラー割り込	み要因判定レジ	ジスタ(EIFR)		
IRR3	送信エラーカウ ンタワーニング 割り込みフラグ	0:エラーワーニン グ未検出(初期値) 1:エラーワーニン グ検出(TEC ≧ 96 のとき) [クリア条件] 1 書き込み	EWIF	エラーワー ニング検出	0: : エラーワーニ ング未検出(初期 値) 1: エラーワーニン グ検出(TEC ≧		
IRR4	受信エラーカウ ンタワーニング 割り込みフラグ	0:エラーワーニン グ未検出(初期値) 1:エラーワーニン グ検出(REC≧96 のとき) [クリア条件] 1 書き込み		フラグ	96 または REC≧96 のとき) [クリア条件] 0書き込み		
IRR5	エラーパッシブ 割り込みフラグ	0:エラーパッシブ 未検出(初期値) 1:エラーパッシブ 検出(TEC≧128 ま たはREC≧128 に なったとき) [クリア条件] 1 書き込み	EPIF	エラーパッ シブ検出フ ラグ	0:エラーパッシブ 未検出(初期値) 1:エラーパッシブ 検出(TEC≧128 または REC≧128 になったとき) [クリア条件] 0書き込み		
IRR6	バスオフ割り込 みフラグ	0: バスオフ状態ではない(初期値) 1: バスオフ状態 (TEC≧256 のとき) [クリア条件] 1 書き込み	BOEIF	バスオフ開 始検出フラ グ	0: バスオフ状態で はない(初期値) 1: バスオフ状態 (TEC≧256 のと き) [クリア条件] 0書き込み		

H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能	
IRR7	オーバロードフレーム	0:オーバロードフレーム送信未検出(初期値) 1:オーバロードフレーム送信検出 「クリア条件」 1書き込み	OLIF	オーバロー ドフレーム 送信検出 フラグ	0:オーバロードフレーム送信未検出 (初期値) 1:オーバロードフレーム送信検出 [クリア条件] 0書き込み	
IRR9	メッセージオー バラン/オーバ ライト割り込み フラグ	0:オイト がラレ (初期 1:東東/木バラレ (初期 1:原東/木バラ (カージー 1:原東/木バー (カージー 2) リー (カージー 2) リー (カージー 3) リー (カー (カー (カー (カー ) カー	ORIF	受信オーバ ラン検出フ ラグ	0:受信オーバラン 未検出(初期値) 1:受信オーバラン 検出 [クリア条件] 0書き込み **オーバランでのみ 1になる。オーバットでは1にならない。	
IRR10	スタートシステ ムマトリックス 割り込み	0:システムマト リックスの先頭では ない 1:タイムリファレ ンスメッセージの送 信/受信完了 [クリア条件] 1 書き込み	-	-	-	
IRR11	タイマコンペア マッチ割り込み 2	0: TCMR2 のタイ マコンペアマッチの 未発生 1: TCMR2 のタイ マコンペアマッチの 発生 (TCMR2=CYCTR) [クリア条件] 1 書き込み	-	-	-	



H8SX/1720S (RCAN-TL1)			RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能	
IRR13	タイマオーバラ ン割り込み /Next_is_Gap 受信割り込み/ メッセージエ ラー割り込み	0: いずいから 1: イドウン 1: イドランム 1: イドランム に アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	-	-	-	
IRR14	タイマコンペア マッチ割り込み O	0: TCMR0 のタイ マコンペアマッチの 未発生 1: TCMR0 のタイ マコンペアマッチの 発生 (TCMR0=TCNTR) [クリア条件] 1 書き込み	-	-	-	
IRR15	タイマコンペア マッチ割り込み 1	0: TCMR1 のタイ マコンペアマッチの 未発生 1: TCMR1 のタイ マコンペアマッチの 発生 (TCMR1=CYCTR) [クリア条件] 1 書き込み	-	-	-	
IRR0	リセット/ホル ト/スリープ割 り込みフラグ	0:モード遷移なし 1:リセットモード への遷移、またはホルトモードへの遷移 移、またはスリープ モードへの遷移	-	-	-	

## 2.7 割り込み要因の要求を許可/禁止するフラグの詳細

表 10 H8SX/1720S (RCAN-TL1) と RX65N (CAN) の割り込み要因の要求を許可/禁止するフラグ

H8SX/1720S (RCAN-TL1)		RX65N (CAN)			
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
インタラプト	·マスクレジスタ(		-		
IMR8	メールボックス エンプティ割り 込みマスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-
IMR1	データフレーム 受信割り込みマ スク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-
IMR2	リモートフレー ム受信割り込み マスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-
IMR12	CAN スリープ モード時バスア クティビティマ スク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-
IMR10	スタートシステ ムマトリックス 割り込みマスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-
IMR11	タイマコンペア マッチ割り込み 2マスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-
IMR13	タイマオーバラ ン割り込み /Next_is_Gap 受信割り込み/ メッセージエ ラー割り込みマ スク	0:割り込み要求許可 1:割り込み要求禁止(初期値)	-	-	-
IMR14	タイマコンペア マッチ割り込み 0 マスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-

F	18SX/1720S (RCA	N-TL1)		RX65N (C	AN)				
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能				
IMR15	タイマコンペア マッチ割り込み 1 マスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-				
IMR0	リセット/ホル ト/スリープ割 り込みマスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	-	-	-				
インタラプト	マスクレジスタ(	(IMR)	エラー割り込み許可レジスタ (EIER)						
IMR3	送信エラーカウ ンタワーニング 割り込みマスク	0:割り込み要求許可 1:割り込み要求禁止(初期値)	EWIE	エラーワー ニング割り	0:割り込み要求禁止(初期値)				
IMR4	受信エラーカウ ンタワーニング 割り込みマスク	0:割り込み要求許可 1:割り込み要求禁止(初期値)		込み許可 ビット	1:割り込み要求許可				
IMR5	エラーパッシブ 割り込みマスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	EPIE	エラーパッ シブエント リ割り込み 許可ビット	0:割り込み要求禁 止(初期値) 1:割り込み要求許 可				
IMR6	バスオフ割り込 みマスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	BOEIE	バスオフ開 始割り込み 許可ビット	0:割り込み要求禁 止(初期値) 1:割り込み要求許 可				
IMR7	オーバロードフ レームマスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	OLIE	オーバロー ドフレーム 送信割り込 み許可ビッ ト	0:割り込み要求禁 止(初期値) 1:割り込み要求許 可				
IMR9	メッセージオー バラン/オーバ ライト割り込み マスク	0:割り込み要求許 可 1:割り込み要求禁 止(初期値)	ORIE	オーバラン 割り込み許 可ビット	0:割り込み要求禁 止(初期値) 1:割り込み要求許 可				
メールボック (MBIMR0、	· · · ·	スクレジスタ 0、1	メールボック	ス割り込み許可	「レジスタ(MIER)				
MBIMR0 [15:0] MBIMR1 [15:0]	メールボックス インタラプトマ スク	0:割り込み許可 1:割り込み禁止 (初期値)	MB[31:0]	割り込み許可ビット	0:割り込み禁止 (初期値) 1:割り込み許可				

H8SX/1720S グループと RX65N グループでは割り込みコントローラの仕様が異なります。RX65N グループで割り込みを発生させる場合、割り込みコントーラで各割り込み許可/禁止の設定が必要です。割り込みコントローラの詳細は「RX65N グループ、RX651 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編」(R01UH0590) を参照してください。

下記に RX65N グループの CAN 割り込みの種類を示します。

#### [選択型割り込み B]

CANi 受信完了割り込み (メールボックス 0 ~ 31) [RXMi]

CANi 送信完了割り込み (メールボックス 0 ~ 31) [TXMi]

CANi 受信 FIFO 割り込み[RXFi]

CANi 送信 FIFO 割り込み[TXFi]

#### [グループ割り込み BE0]

CANi エラー割り込み[ERSi]

(エラー割り込みの各要因)

- バスエラー
- エラーワーニング
- エラーパッシブ
- バスオフ開始
- バスオフ復帰
- 受信オーバラン
- オーバロードフレーム送信
- バスロック

## 2.8 受信メッセージの Identifier によるフィルタリング設定の詳細

表 11 H8SX/1720S(RCAN-TL1)と RX65N(CAN)の受信メッセージの Identifier によるフィルタリング設定

H85	SX/1720S (RC	AN-TL1)		RX65N (CA	AN)
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
ローカルアクセ (LAFML、LAF	•	レタマスク	マスクレジス?	k (MKRk)	(k = 0 ~ 7)
STDID_LAFM [10:0]	STDID フィ ルタマスク ビット	0:対応するビット は比較される 1:対応するビット は比較されない ※初期値不定	SID[10:0]	標準 ID ビッ ト	0:対応するビット は比較されない 1:対応するビット は比較される ※ビットに対する機 能が RCAN-TL1 の 逆 ※初期値不定
EXTID_LAFM [17:16] EXTID_LAFM [15:0]	EXTID フィ ルタマスク ビット	0:対応するビット は比較される 1:対応するビット は比較されない ※初期値不定	EID[17:0]	拡張 ID ビット	0:対応するビット は比較されない 1:対応するビット は比較される ※ビットに対する機 能が RCAN-TL1 の 逆 ※初期値不定
IDE_LAFM	IDE ビット フィルタマ スクビット	0:対応する IDE ビットが有効 1:対応する IDE ビットが無効	-	-	-
-			マスク無効レ	ジスタ(MKIVL	
-	-	-	MB[31:0]	マスク無効 ビット	<ul><li>0:対応するメール ボックスのマスク有 効</li><li>1:対応するメール ボックスのマスク無 効</li><li>※初期値不定</li></ul>

## 2.9 タイマ制御/タイムトリガの詳細

表 12 H8SX/1720S(RCAN-TL1)と RX65N(CAN)のタイムスタンプ/タイムトリガの詳細

H8S	SX/1720S (RC	AN-TL1)		RX65N (CA	AN)
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能
タイムトリガニ	コントロールレシ	ジスタ 0(TTCR0)	制御レジスタ	(CTLR)	
TCR15	タイマイ ネーブル	0: カウンタ (TCNTR)とサイ クルカウンタ (CCR)をクリア	-	-	※カウント開始は通 常動作モードへの遷 移。 停止はスリープモー ドまたは Halt モー ドへの遷移
		してカウント停止 1:カウント開始	TSRC	タイムスタ ンプカウン タリセット ビット	0: リセットしない 1: リセットする
TCR14	タイムスタ ンプ選択	0:タイムスタンプ に CYCTR を使用 1:タイムスタンプ に CCR+CYCTR を 使用	-	-	-
TCR13	TCMR2 送信 キャンセル イネーブル	<ul><li>0:コンペアマッチ で送信キャンセル 禁止</li><li>1:コンペアマッチ で送信キャンセル 許可</li></ul>	-	-	-
TCR12	TCMR2 コン ペアマッチ イネーブル	0:コンペアマッチ 無効 1:コンペアマッチ 有効	-	-	-
TCR11	TCMR1 コン ペアマッチ イネーブル	0:コンペアマッチ 無効 1:コンペアマッチ 有効	-	-	-
TCR10	TCMR0 コン ペアマッチ イネーブル	0:コンペアマッチ 無効 1:コンペアマッチ 有効	-	-	-
TCR6	TCMR0 に よるタイマ クリア制御	0: コンペアマッチ でカウントクリア しない 1: コンペアマッチ でカウントクリア	-	-	-

## RX ファミリ、H8SX ファミリ

H8S	SX/1720S (RC	AN-TL1)	RX65N (CAN)				
シンボル	ビット名	機能	シンボル	ビット	機能		
TPSC5~ TPSC0	タイマプリ スケーラ	分周比は 2×(設定値 P+1) ※初期値は 0(1 分周) ※イベントトリガモード時有効 ※TTCAN モード時は 1 ビットタイミング固定	TSPS[1:0]	タイムスタ ンププリス ケーラ選択 ビット	b1b0 00:1ビットタイ ムごと 01:2ビットタイ ムごと 10:4ビットタイ ムごと 11:8ビットタイ ムごと		

### 3. メールボックスの相違

表 13 に RX65N (CAN) のメールボックス構成を、表 14~表 19 に H8SX/1720S (RCAN-TL1) のメールボックス構成を示します。いずれかのグループにしか存在しない項目は<mark>赤字</mark>にしています。

レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス	フィールド
									サイズ	
									(注 1)	
MBj	IDE	RTR			9	SID[10:6	]		8/16/32	コントロー
(j = 0∼31)	(注 2)									ル
()			SID[				EID[1	7:16]		
				EID[	15:8]					
				EID[	7:0]					
	-	-	-	-	-	-	-	-	8/16/32	
	-	-	-	-		DLC	[3:0]			
				DAT						データ
				DAT						
				DAT					8/16/32	
				DAT						
				DAT						
	DATA5									
					8/16/32					
				TS	SH					タイムスタ
		•		TS	SL		•			ンプ

表 13 RX65N (CAN) のメールボックス構成

<sup>【</sup>注 1】 メールボックスレジスタ j(MBj)(j = 0~31)に 16 ビットでアクセスするときは偶数アドレス、 32 ビットでアクセスするときはアドレスの末尾が 0h、4h、8h、Ch のアドレスにアクセスしてくだ さい。

<sup>【</sup>注 2】IDE ビットは、CTLR レジスタの IDFM ビットがミックス ID モード("10b")のときに有効です。IDFM ビットが"10b"以外のときには IDE ビットに"0"を書いてください。また、読んだ場合、その値は"0"です。

レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス	フィールド
									サイズ(注)	
MB0	IDE	RTR	0		S	DID[10	:6]		16/32	コントロー
			STDIE		ルロ					
				EXTID	[15:8]					
	IDE_	0	0		STDII	D_LAFM	<b>I</b> [10:6]		16/32	LAFM
	LAFM						1			
		S	TDID_L	AFM[5:0	)]			ΓID_		
				(TID   1 4			LAFM	[17:16]		
					\FM[15:					
					AFM[7:0	)]			0/40/00	
				MSG_D					8/16/32	データ
				MSG_D						
				MSG_D						
				MSG_D					0/40/00	-
				MSG_D					8/16/32	
				MSG_D						
				MSG_D MSG_D						
			NIMO	.1	0/40	_ , , _				
	0	0	NMC	0	0		MBC[2:0	)]	8/16	コントロー
	0	0	0	0		DLC	[3:0]			ル1
			Т		16	タイムスタ				
						ンプ				

表 14 H8SX/1720S (RCAN-TL1) のメールボックス構成 (MB0 受信用)

<sup>【</sup>注】メールボックス(MBO)に 16 ビットでアクセスするときは偶数アドレス、32 ビットでアクセスするときはアドレスの末尾が 0h、4h、8h、Ch のアドレスにアクセスしてください。

レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス	フィールド
									サイズ(注)	
MBi	IDE	RTR	0		ST	16/32	コントロー			
(i = 1~15)			STDII		ルロ					
(										
	IDE_         0         0         STDID_LAFM[10:6]								16/32	LAFM
	LAFM						1			
		S	TDID_L	AFM[5:0	0]			ΓID_		
				VTID	0 EN 454 E 4	N1	LAFM	[17:16]		
					AFM[15:8					
					AFM[7:0	]			0/40/00	- · -
					DATA_0				8/16/32	データ
					DATA_1 DATA_2					
					DATA_2 DATA_3					
					DATA_3 DATA_4				8/16/32	
					DATA_5				0/10/32	
					DATA_6					
					DATA 7					
	0	0	NMC	8/16	コントロー					
	0	0	0	0	DART		MBC[2:0 [3:0]	-		ル1
			T		16	タイムスタ				
						ンプ				

表 15 H8SX/1720S(RCAN-TL1)のメールボックス構成(MB1~MB15)

<sup>【</sup>注】メールボックス(MBi) (i=1~15) に 16 ビットでアクセスするときは偶数アドレス、32 ビットでアクセスするときはアドレスの末尾が 0h、4h、8h、Ch のアドレスにアクセスしてください。

レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス	フィールド
									サイズ(注)	
MBi	IDE	RTR	0		ST	DID[10:	16/32	コントロー		
(i = 16~23)			STDII	D[5:0]			EXTID	[17:16]		ルロ
				EXTID	D[15:8]					
	IDE_	IDE_ 0 0 STDID_LAFM[10:6]								LAFM
	LAFM						_			
		S	TDID_L	.AFM[5:0	0]			ΓID_ [17:16]		
					4FM[15:8					
			Е	XTID_L	.AFM[7:0	]				
				MSG_E	DATA_0				8/16/32	データ
				MSG_E	DATA_1					
				MSG_E	DATA_2					
				MSG_E	DATA_3					
				MSG_E	DATA_4				8/16/32	
	MSG_DATA_5									
	0	0	NMC	ATX	DART	I	8/16	コントロー		
	0	0	0	0		DLC	[3:0]			ル1

表 16 H8SX/1720S (RCAN-TL1) のメールボックス構成 (MB16~MB23)

							,	,		1
レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス	フィールド
									サイズ(注)	
MBi	IDE	RTR	0		S7	16/32	コントロー			
(i = 24~29)			STDII	D[5:0]			EXTID	[17:16]		ルロ
( = : = = = )				EXTID	)[15:8]					
				EXTI	D[7:0]					
	IDE_	0	0		STDIE	D_LAFM	[10:6]		16/32	LAFM
	LAFM									
		S	TDID_L	.AFM[5:0	)]			ΓID_		
							LAFM	[17:16]		
					4FM[15:8					
			E		AFM[7:0	]				
					DATA_0				8/16/32	データ
				MSG_E						
					DATA_2					
					DATA_3					
					DATA_4				8/16/32	
					DATA_5					
					DATA_6					
					DATA_7	1			- 1	
	0	0	NMC	ATX	DART		MBC[2:0	)]	8/16	コントロー
	0	0	0	0		DLC	[3:0]		ル1	
				リザ	ーブ	-	-			
				リザ	ーブ					
			送信トリ	Jガタイ.	ム(TTT	16	トリガタイ			
			送信ト	リガタイ	ム (TTT			7		
	TTW	[1:0]			オフも	16	TTコント			
	0	0	0	0	0	R	ep_Fact	or		ロール

表 17 H8SX/1720S(RCAN-TL1)のメールボックス構成(MB24~MB29)

<sup>【</sup>注】メールボックス(MBi) (i=24~29) に 16 ビットでアクセスするときは偶数アドレス、32 ビットでアクセスするときはアドレスの末尾が 0h、4h、8h、Ch のアドレスにアクセスしてください。

レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス	フィールド
									サイズ(注)	
MB30	IDE	RTR	0		ST	DID[10:	16/32	コントロー		
			STDI	[17:16]		ルロ				
			ı							
	IDE_ 0 0 STDID_LAFM[10:6] LAFM								16/32	LAFM
		S	TDID_L	AFM[5:0	)]		EXT	TID_		
							LAFM	[17:16]		
					AFM[15:8	-				
			E		AFM[7:0	]				
				MSG_D					8/16/32	データ
				MSG_D						
				MSG_D						
				MSG_D					0/40/00	
				MSG_D					8/16/32	
					DATA_5					
					DATA_6					
	0	0	NMC	MSG_C ATX			MDCIO	v1	8/16	->
				0	DART		MBC[2:0 [3:0]	ני	8/16	コントロール1
	0	0	0							
		Time	Stamp[1		16	タイムスタ				
		Time	Stamp[7	7:0] (S	OF での	TCNTR	値)			ンプ
	タイム	リファレ	ノンスと	[15:8]	16	トリガタイ				
	タイム	リファ	レンスと	[7:0]		厶				

表 18 H8SX/1720S(RCAN-TL1)のメールボックス構成(MB30)

<sup>【</sup>注】メールボックス(MB30)に 16 ビットでアクセスするときは偶数アドレス、32 ビットでアクセスするときはアドレスの末尾が 0h、4h、8h、Ch のアドレスにアクセスしてください。

レジスタ名	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	アクセス サイズ(注)	フィールド
MB31	IDE	RTR	0		ST	DID[10:	16/32	コントロー		
		STDID[5:0] EXTID[17:16]								ルロ
				EXTID	[15:8]					
	IDE_ 0 0 STDID_LAFM[10:6]								16/32	LAFM
	LAFM									
		S	TDID_L	AFM[5:0	)]			TID_		
				VTID I	AFM[15:8	01	LAFIVI	[17:16]		
					AFM[7:0 )ATA_0	1			8/16/32	データ
				MSG_D					0,10,02	
					ATA_2					
					DATA_3					
				MSG_D	ATA_4				8/16/32	
				MSG_D	ATA_5					
					OATA_6 OATA_7					
					8/16					
	0									コントロー
	0	0	0	0		DLC	[3:0]			ル1
	Time Stamp[15:8] (SOF での TCNTR 値)								16	タイムスタ
		Time	Stamp[7			ンプ				

表 19 H8SX/1720S(RCAN-TL1)のメールボックス構成(MB31)

<sup>【</sup>注】メールボックス(MB31)に 16 ビットでアクセスするときは偶数アドレス、32 ビットでアクセスするときはアドレスの末尾が 0h、4h、8h、Ch のアドレスにアクセスしてください。

### 4. その他の相違

### 4.1 スリープモードの設定手順

スリープモードへの設定手順やスリープモードからの復帰手順が異なります。以下に各デバイスのスリープモードへの設定手順を示します。詳細な差異は各デバイスのユーザーズマニュアル ハードウェア編を確認してください。

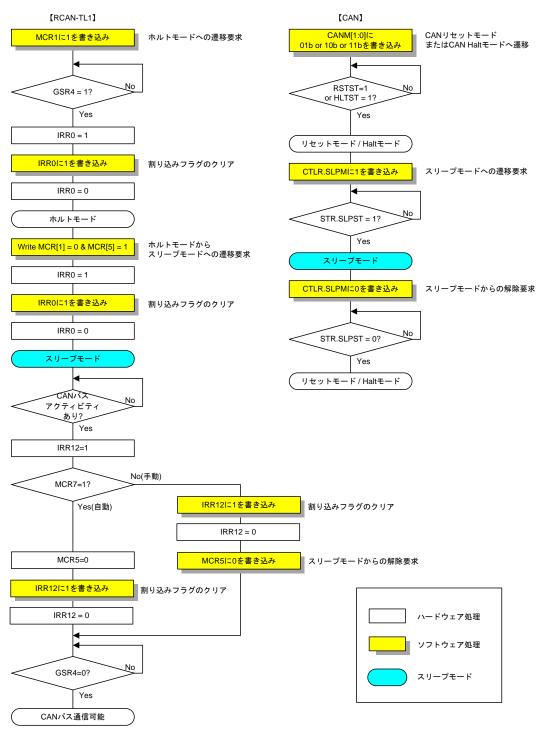


図 1 H8SX/1720S (RCAN-TL1) と RX65N (CAN) のスリープモードへの設定手順

### 4.2 CAN リセットによる初期化

CAN ソフトウェアリセット時のレジスタ初期化動作と遷移タイミングが異なります。表 20 に各デバイスのレジスタ初期化動作と遷移タイミングの差異を示します。

表 20 CAN ソフトウェアリセット時のレジスタ初期化動作と遷移タイミング

項目	H8SX/1720S (RCAN-TL1)	RX65N (CAN)
レジスタ初期化	MCR0 ビットを除く全てのレジスタを初 期化	下記レジスタを初期化およびリセット モード中の初期化状態を維持
	(RAM に配置のメールボックスデータを 除く)	MCTLj、STR(SLPST フラグと TFST フラグを除く)、EIFR、RECR、TECR、TSR、MSSR、MSMR、RFCR、TFCR、TCR、ECSR(EDPM ビットを除く)
遷移タイミング	MCR0 ビットに"1"をセット直後にリセット動作に遷移	CTLR.CANM[1:0] ビットに"01b"を セット後、メッセージの送信終了を待っ て遷移 (受信完了は待たない) [強制移行] CTLR.CANM[1:0] ビットに"11b"を セット直後にリセットモードに遷移

### 4.3 エンディアン

RX ファミリはリトルエンディアン、ビッグエンディアンの両方をサポートしています。H8SX ファミリはビッグエンディアンのみサポートしています。

RX ファミリのエンディアン設定に関する詳細は、RX ファミリの各デバイスのユーザーズマニュアルハードウェア編を確認してください。

### 5. 関連ドキュメント

以下に関連ドキュメントを示します。本アプリケーションノートと合わせてご参照ください。

- アプリケーションノート
  - RX ファミリ CAN の使い方 (R01AN1448)
  - RX65N/RX651 グループ RX230/RX231 グループ RX65N グループと RX231 グループの相違点 (R01AN3377)
- ユーザーズマニュアル
  - H8SX/1720S グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編(R01UH0370)
  - RX65N グループ、RX651 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編(R01UH0590)

## 改訂記録

		改訂内容	
Rev.	発行日	ページ	ポイント
1.00	Sep.30.19	-	新規作成

#### 製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本ドキュメントおよびテクニカルアップデートを参照してください。

#### 1. 静電気対策

CMOS 製品の取り扱いの際は静電気防止を心がけてください。CMOS 製品は強い静電気によってゲート絶縁破壊を生じることがあります。運搬や保存の際には、当社が出荷梱包に使用している導電性のトレーやマガジンケース、導電性の緩衝材、金属ケースなどを利用し、組み立て工程にはアースを施してください。プラスチック板上に放置したり、端子を触ったりしないでください。また、CMOS 製品を実装したボードについても同様の扱いをしてください。

#### 2. 電源投入時の処置

電源投入時は、製品の状態は不定です。電源投入時には、LSIの内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。外部 リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。同様に、内蔵パワーオン リセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

#### 3. 電源オフ時における入力信号

当該製品の電源がオフ状態のときに、入力信号や入出力プルアップ電源を入れないでください。入力信号や入出力プルアップ電源からの電流注入により、誤動作を引き起こしたり、異常電流が流れ内部素子を劣化させたりする場合があります。資料中に「電源オフ時における入力信号」についての記載のある製品は、その内容を守ってください。

#### 4. 未使用端子の処理

未使用端子は、「未使用端子の処理」に従って処理してください。CMOS製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI周辺のノイズが印加され、LSI内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。

#### 5. クロックについて

リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。リセット時、外部発振子(または外部発振回路)を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子(または外部発振回路)を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

#### 6. 入力端子の印加波形

入力ノイズや反射波による波形歪みは誤動作の原因になりますので注意してください。CMOS 製品の入力がノイズなどに起因して、V<sub>IL</sub> (Max.) から V<sub>IH</sub> (Min.) までの領域にとどまるような場合は、誤動作を引き起こす恐れがあります。入力レベルが固定の場合はもちろん、V<sub>IL</sub> (Max.) から V<sub>IH</sub> (Min.) までの領域を通過する遷移期間中にチャタリングノイズなどが入らないように使用してください。

#### 7. リザーブアドレス (予約領域) のアクセス禁止

リザーブアドレス (予約領域) のアクセスを禁止します。アドレス領域には、将来の拡張機能用に割り付けられている リザーブアドレス (予約領域) があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

#### 8. 製品間の相違について

型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。同じグループのマイコンでも型名が違うと、フラッシュメモリ、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ幅射量などが異なる場合があります。型名が違う製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

#### ご注意書き

- 1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して生じた損害(お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。)に関し、当社は、一切その責任を負いません。
- 2. 当社製品、本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではあいません。
- 3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
- 4. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
- 5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準: コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等高品質水準:輸送機器(自動車、電車、船舶等)、交通制御(信号)、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム(生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等)、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム(宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等)に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じても、当社は一切その青年を負いません。

- 6. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報(データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等)をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
- 7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
- 8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
- 9. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
- 10. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものといたします。
- 11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
- 12. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。
- 注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的 に支配する会社をいいます。
- 注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.4.0-1 2017.11)

#### 本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

#### 商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の 商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属 します。

#### お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/